



巣立ちと感謝

今年の春の訪れは早く、福沢地区の名所「一の堰ハラネ」の春めき桜も、すでに先週満開を迎えました。いよいよ6年生の卒業式が明日挙行されます。1年生から5年生もあと約10日で進級します。コロナ禍での学校生活は、子どもたちにとって我慢の連続でしたが、新たな発想と実行力で行事や活動を工夫しながらやり遂げることができました。福沢小学校の子どもたちは、この未曾有の事態を「たくましさ」でピンチをチャンスに変えて、様々なハードルを乗り越えてきました。自ら考え行動してきたこれらの力は、きっと、この先、子どもたちを支えていくものとなるでしょう。

今年度も、福沢小学校にお力添えをいただいたすべての皆様に心からお礼を申し上げます。保護者や地域の皆様とともに、教職員一同「子どもたちに笑顔を」という共通の思いで、力を合わせて取り組んでまいりました。今年度、学校教育への温かなご支援とご協力をありがとうございました。

令和2年度学校評価の結果

～詳細は、3月19日（金）に配付しました資料をご覧ください～

- 「友だちの話をしっかり聞いて、進んで発言している」の項目は、保護者及び児童の肯定的な回答が昨年度より上がっている。さらに、授業における「主体的な学び」を展開していきたい。
- 「読書活動」では、自分から進んで読書している児童が増加している。今後も本に触れる機会を増やし、読書が好きな児童の育成に努める。
- 「必要な時に、まわりの人に相談できる」では、保護者と児童の肯定的な回答に差があり、児童のほうが高い。児童が相談しやすい環境をつくるとともに、児童の心に何らかの変化があった時に気づけるようきめ細やかな相談体制の構築をめざす。

***アンケートへのご協力ありがとうございました。今後のよき学校づくりに生かしていきます。**

～6年生に感謝の気持ちを～

5年生の児童が中心となって、6年生に感謝の気持ちを伝えようと、準備を進めてきました。在校生は、感染防止対策のため卒業式には参加しませんが、6年生へ感謝の思いを込めて、5年生は巨大な壁画「お祝いの絵」を制作しました。当日は、体育館に飾られている壁画が、在校生に代わって卒業生の門出を見送ることとなります。1～4年生は、6年生にお手紙を書きました。他にも、体育館の出入り口を飾る輪飾りや花紙等を休み時間も活用しながらつくりました。ある1年生が、そっと教えてくれました。「わたしね、6年生にお手紙を書いたよ。『6年生が、えがおでそつぎょうできますように。今まで、やさしくさえてくれてありがとう。』って」…6年生は、在校生にとってどんな時も頼りになる学校のリーダーでした。



～1～5年生からの感謝のメッセージ

～お知らせ～

- ◇毎年、本の寄贈をしてくださっている地元企業の東雄技研株式会社様に市から感謝状が贈られました。貴社の寄贈により、学校の図書室は最新の本が充実しています。
- ◇児童の安全確保・体調管理の観点から、学校の開門が7時45分になりました。安全に登校できますようご協力をお願いします。(3/2通知参照)

正門が美しくリニューアル

正門を通る子どもたちから、「校門がきれい！」と、おもしろい感嘆の声があがりました。道行く地域の人からも、「見違えるようですね。」と、褒めていただきました。正門のリニューアルは、6年間通った学び舎への感謝の気持ちから、6年生が提案し実施したものです。そして、この提案に、協力してくださったのは、地元塗装会社の白戸さんです。2日間にわたって講師になっていただき、みごとに美しい正門に生まれ変わりました。地域の方の協力をいただきながら真剣に作業に取り組んだことは、子どもたちにとっても貴重な経験となりました。



◆有意義な春休みに◆

緊急事態宣言の延長で外出自粛が長引いたため、子どもたちのゲームやインターネットに触れる時間がますます増えていることが懸念されます。春休みは、新年度への心構えを作る大切な期間です。めあてをもって、規則正しい生活が送れるよう、各家庭で話し合いの場をもっていただき、新学期、よいスタートができるようにご配慮ください。なお、ご家庭で指導していただく内容については、既に配付しました「春休みのしおり」等をご参照ください。